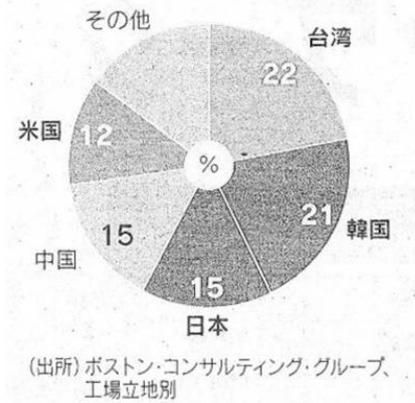


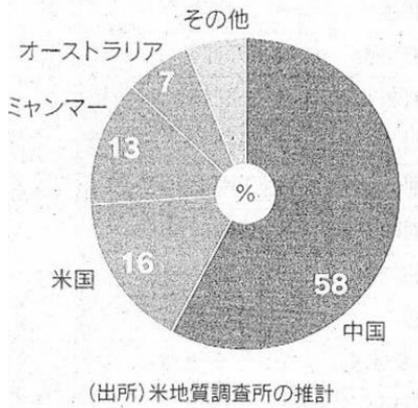
週間国際経済 2021 (6) No.256 02/20~03/03

- 02/20・G7 首脳会談 (19 日、オンライン) 多国間主義へ転換点 首脳声明
- ・日米豪印外相協議 (18 日、電話) 東・南シナ海「現状変更」に強く反対
 - ・英中「黄金時代」に幕 香港・人権・安保で応酬 中国依存輸入先分散へ
 - ・米欧連携 中ロに対抗 ミュンヘン安保会議 (19 日) でバイデン氏「民主主義防衛」
- 02/21・記事対価で米 IT 歩み寄り 米欧メディアと支払い合意相次ぐ
- 02/23・出生数最小 87 万人 昨年 婚姻、70 年ぶり減少率 12.7%減
- ・コロナ病床、英米の 1 割 日本、受け入れ全病床の 0.87% 医療機関の連携不足
- 02/24・米、同盟国と供給網整備 半導体や EV 電池 中国に対抗 <1>
- ・FRB、緩和継続強調 議会公聴会 長期金利上昇「経済期待表れ」
物価上昇「長続き予想せず」
 - ・イラン、ウラン濃縮 20% IAEA 報告 貯蔵量、核合意上限の 15 倍
- 02/25・韓国人口、昨年初の減少 就職難・教育費負担が影 <2>
- ・FRB 議長「物価目標達成に 3 年以上」下院公聴会 ゼロ金利維持強調
- 02/26・日経平均、一時 900 円安 米長期金利上昇を警戒 NY 株反落 559 ドル安 <3>
- ・米、親イラン勢力空爆 シリア東部 バイデン政権で初
- 02/27・日経平均 1202 円安 世界的な金利上昇に動揺 NY 株、2 日で 1000 ドル安
- 02/28・米、過熱覚悟の経済対策 200 兆円規模、下院で可決 (27 日) <4>
- ・G20 財務相・中銀総裁会議 (26 日) コロナ対策の財政・金融「拙速な縮小回避」
- 03/01・中国 GDP、米の 7 割に 昨年 14.7 兆ドル 経済持ち直しが寄与 <5>
- ・トランプ氏、再出馬示唆 24 年大統領選挙 新党旗揚げは否定 退任後初の演説
- 03/02・米通商方針、ウイグル問題「最優先」 対中貿易を規制 温暖化対策も重視
- ・NY 株反発 603 ドル高 金利上昇が一服
- 03/03・ユーロ圏の物価 上げ幅 1%迫る 2 月も 0.9% 年後半、市場に波乱も
- ・投資マネー、2 割が「脱炭素」 ブラックロックなど 削減努力で企業選別

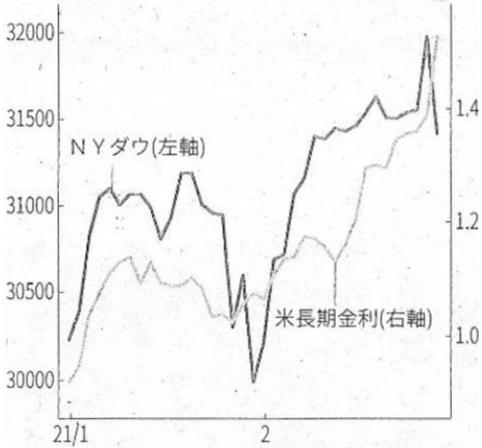
<1>
米国は同盟国や地域との協力が必至
 (2020年の半導体の生産能力シェア)



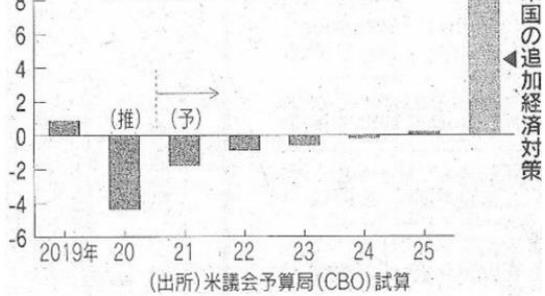
レアアースは中国の存在感が強い
 (20年のレアアース生産量シェア)



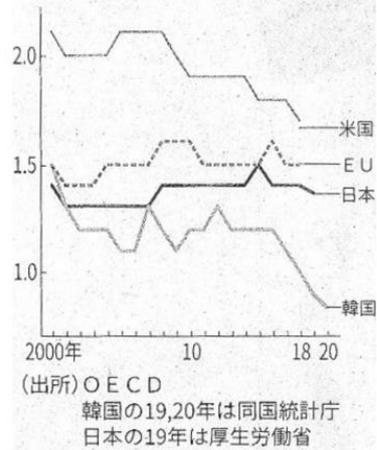
<3>
金利急上昇が株安の引き金に



<4>
米国の需給ギャップ(GDP比)と追加対策(1.9兆ドル)の規模



<2>
韓国の出生率低下が目立つ



<5>
経済規模でみた中国の対米比

